

高齢者の豊富な知識技能を地域社会に

会報

とっとり

第4号
2001,1月号



鳥取県とっとり花回廊（鳥取県西伯郡会見町鶴田） オフィスYATO 矢藤益美氏提供

目次

新年のあいさつ	2	健康シリーズ③	12
平成12年度事業実施状況	3~7	会員の広場	13~14
シルバー人材センターの紹介	8	講習会に参加して	14~16
（社）南部広域シルバー人材センター ...	8~9	高齢法の改正	17
（社）智頭町シルバー人材センター ...	10~11		



(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

会長 川口 貞 良

新年あけまして、おめでとございます。皆様方には、ご健勝で歴史的な新世紀初めの新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

昨年十月には、未曾有の鳥取県西部を震源とする大地震に襲われ、多くの方々被害に遭われましたことは、まことに憂慮すべき大災害でございました。幸い人的被害が少なく、一日も早い復興を願いたしているところでございます。

当連合会は、発足以来二年が経過し、三年目の新春を迎えましたが、ご承知のとおり、昨年、一昨年と個人消費の低迷や、企業の回復力が弱く、雇用状況は依然厳しいものがありました。が、ようやく、明るい兆しがあるようにも一部報道がなされたところでございます。

当連合の事業実績は、平成十一年度の上

半期と平成十二年度の上半期とを比較いたしますと、会員数はあまり変化がないものの、受注件数で千五百件、契約金額で六千九百万円と、昨年同期に比へまして、契約金額で約十三パーセントの伸びを示しております。このことは、ひとえに、鳥取県および各市町村ご当局をはじめとする関係各位のご支援ご指導の賜物と心から感謝申し上げます。

昨今、シルバー人材センターを取り巻く環境は非常に変化して来ております。昨年四月に開始された介護保険制度につきましては、その重要性を認識し、地域社会に貢献していくため、各シルバー人材センターと共に積極的に取り組んでいるところでございます。又、労働省の委託事業として「シニアワークプログラム事業」では、鳥取県特有の内容を考慮しつつ雇用に繋げる

技能講習を実施し、又、実施する計画をいたしております。

最後になりましたが、二十一世紀の初年度にあたり、シルバー人材センター事業が、より一層高齢者の生きがいの充実や地域社会に貢献できるよう、皆様と共に努力して参りたいと存じますので、鳥取県ご当局をはじめとする関係各位、およびシルバー人材センターの役員並びに会員の皆様のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。各シルバー人材センターの益々のご繁栄と皆様方のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のあいさついたします。



平成十二年度事業実施状況

安全就業研修会開催

去る平成十二年七月二十八日倉吉シティホテルにおいて、各シルバー人材センターから役職員五十八名の参加のもと、盛大に開催さ



れました。

基調講演には、(株)米子広域シルバー人材センター 宇野治巳事務局長の講演をいただき、又(株)倉吉市シルバー人材センターの川田壽雄事務局長並びに(株)智頭町シルバー人材センター 石谷文一事務局長の事例発表の後、引き続き質疑に入り安全就業に対する質問、意見が多く出され好評のうちに終了しました。

就業開拓等事業の需給調整会議開催

今後、益々受注する作業分野の片寄りが予想され、会員のニーズと受注した仕事をマッチさせるため、広域的な需給調整を図る目的で、鳥取県内の東部地区(九月十一日)・中部地区(九月五日)・西部地区(九月八日)の三地区において業務担当者による会議を開催しました。

会議では、職能別、専門別等の会員リストの整備交換、広域ネットワークの整備等が話し合われ、今後広域的な事業展開を実施することになりました。

鳥取・島根役職員合同交流研修会開催



平成十二年九月二十六日・二十七日の二日間、鳥取・島根シルバー人材センター役職員交流研修会が、鳥根県松江市の「松江東急イン」において開催されました。

鳥取県・島根県のシルバー人材センターの役職員合わせて九十九名参加のもと講師として、全シ協から佐藤仁彦専務理事を、又来賓として鳥根労働局職業安定部長、鳥根県から

商工労働部長をお迎えし、あいさつの後、佐藤専務の「シルバー人材センター事業の現状と今後の発展方向について」の講演をいただき、第二日目に入り、鳥取県から舩米子広域シルバー人材センターの宇野治巳事務局長、



鳥根県から舩斐川町シルバー人材センター尾添育男事務局長の事例発表があり、休憩後質疑応答に入り、多数の質問がありました。が、時間の関係もあり、最後に佐藤専務の講評をいただき盛会のうちに閉会しました。

第二回事務局長会議開催

本年度第二回事務局長会議を九月二十四日(米子市内のハーベストイン米子において開催しました。

会議には、鳥取労働局の担当官、鳥取県労働雇用課の担当者の出席をいただき、全国連合会の事務局局長会議での「高齢者等の雇用の安定等に関する法律」の改正(十月一日施行)に伴うシルバー人材センター等で取り扱う就業の範囲の拡大について、又平成十三年度シルバー人材センター事業関係概算予算要求等の概要説明、引き続き、平成十二年度(鳥取県シルバー人材センター連合会の業務等について説明し、質疑応答後閉会しました。

シルバー祭の開催

明るい長寿社会を推進するため、社会福祉法人鳥取県社会福祉協議会ことぶき高齢者事業センター主催のもと、県内の東部地区、中部地区、西部地区の三会場で開催された「いきいき健康福祉まつり二〇〇〇」に参加し、地域住民とのふれあいを通じて、シルバー事業への理解と発展拡充を目的に各会場にシルバー人材センターコーナーを設置し、連合会及び会場地域のシルバー人材センターの役員、会員が参加し、来場者に広報資料を配布してPRに努め、又シルバー事業を紹介するパネルの展示、会員の就業風景写真による作

中部会場



業の紹介、会員の手作り作品の展示、一方シルバー人材センター相談コーナーを設けて来場者への説明等、事業の広報活動を行いました。

なお、開催日は次のとおりでした。

中部会場

平成十二年十一月十一日・十二日二日間
倉吉体育文化会館

西部会場

平成十二年十一月十九日

米子市東山体育館

東部会場

平成十二年十一月二十三日

鳥取市民会館

西部会場



東部会場



連合会賛助会員会議開催

当連合会では、連合会発足以来始めて、シルバー人材センターの基本計画及び今後の取り組み等について理解をいただくために、県下の賛助会員十八市町村の課長さん方に出席していただき、去る十一月二十四日倉吉シティホテルにおいて賛助会員会議を開催し、会議



には、鳥取労働局、鳥取県労働雇用課からも出席をいただき、鳥取県シルバー人材センター連合会の事業状況の説明、平成十三年度シルバー人材センター事業関係(国庫補助金等)概算予算要求についての説明を行いシルバー事業への理解をいただきました。



平成十二年度

シニアワークプログラム事業実施(計画)状況について

ホームヘルパー養成講座2級課程
倉吉会場・米子会場で実施

シニアワークプログラム事業は、高齢者の雇用・就業機会の確保を促進することを目指す

技能講習第1種

講習名	開催地区	開催月日	開催日数	備考
観光ガイド	倉吉会場	07.10~07.21	9	受講者18名・修了者18名
塗装	鳥取会場	07.10~07.14	5	受講者16名・修了者15名
パソコン(中級)	倉吉会場	09.29~10.23	10	受講者20名・修了者20名
接客サービス	米子会場	10.02~10.06	5	受講者22名・修了者22名
左官・ブロック積	鳥取会場	11.06~11.14	6	受講者17名・修了者16名
オフィスクリーニング	米子会場	11.20~11.27	5	受講者17名・修了者17名
パソコン(初級)	鳥取会場	12.04~12.08	5	受講者18名・修了者18名
パソコン(初級)	米子会場	01.15~01.26	10	受講者15名・修了者 名
パソコン(初級)	境港会場	01.29~02.02	5	受講者 名・修了者 名
接客サービス	倉吉会場	02. ~03.	5	受講者 名・修了者 名

介護講習第1種「2級課程」

講習名	開催地区	開催月日	開催日数	備考
ホームヘルパー養成講座	倉吉会場	06.08~07.07	20	受講者19名・修了者19名
ホームヘルパー養成講座	米子会場	11.01~12.05	20	受講者20名・修了者20名

介護講習第1種「3級課程」

講習名	開催地区	開催月日	開催日数	備考
ホームヘルパー養成講座	智頭会場	05.15~06.01	10	受講者19名・修了者19名
ホームヘルパー養成講座	米子会場	08.28~09.19	10	受講者20名・修了者20名
ホームヘルパー養成講座	鳥取会場	09.25~10.16	10	受講者19名・修了者19名
ホームヘルパー養成講座	倉吉会場	01.18~02.07	10	受講者17名・修了者 名
ホームヘルパー養成講座	境港会場	02.15~03.06	10	受講者 名・修了者 名

的に実施しておりますが、今年度は技能講習・介護講習を県下で十七回計画、実施しました。各講習とも元気な高齢者が熱心に講習を受講されました。



技能講習実習



介護講習実習

修了者六百六十名

平成十年年度より、一般高齢者及びシルバー人材センター会員を対象に実施しておりますシニアワークプログラム事業の修了者は、県下で技能講習四百六名、介護講習二百五十四名(うち男二十五名)で、多くの皆さんが各方面でそれぞれ地域に貢献しております。なお、技能講習会及び介護講習会を修了された方には、左記の修了証書を交付しております。

第 号

修了証書

氏名
昭和 年 月 日生

あなたは、シニアワークプログラムに基づく技能講習(第1種)パソコン初級講習(25時間)を修了したことを証します。

平成 年 月 日

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会
会長 川口 貞良

第 号

修了証書

氏名
昭和 年 月 日生

あなたは、厚生省の定めるホームヘルパー養成研修2級課程として鳥取県知事が指定した研修を修了したことを証します。

平成 年 月 日

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会
会長 川口 貞良

修了証明書(携帯用) 第 号

氏名
生年月日 昭和 年 月 日

上記の者は、厚生省の定めるホームヘルパー養成研修2級課程として鳥取県知事が指定した研修を修了したことを証します。

平成 年 月 日

社団法人鳥取県シルバー人材センター連合会
会長 川口 貞良



シルバー人材センター紹介

地域住民から愛され
地域に密着した事業展開

社南部広域シルバー人材センター

我がシルバー人材センターは、鳥取県西部に位置し、米子市の南部に当たり、鳥根県に



植木剪定講習会

接しました国立公園大山のすそのに広がり、一級河川日野川水系の恵みを受け、農村主体の中山間地域で、勤労者は主に米子市に通勤しておる地域にあります。

平成四年十月に西伯町と会見町の小規模シルバー人材センターが合併し南部広域シルバー人材センターが発足いたしました。

発足当初は会員数百七十名でありましたがその後、平成七年に岸本町の小規模シルバー人材センターと合併し二百八十七名の会員となり平成十二年三月末では会員数三百八十五名、契約額一億三千万円となりました。

発足当初と比較しますと会員数で二・二六倍、契約高では二・四四倍となりました。

合併当初の職群別事業内容の比率が技術群が〇・四四％、技能群が一九・七二％、事務整理群が〇・九四％、管理群が八・九％、折衝外交群が〇・七％、軽作業群が六九・二％、サービス群が〇・一％でありましたが、現在では技術群が三・七％、技能群が三三・一％、事務整理群が一・〇％、管理群が二一・〇％、折衝外交群が三・一％、軽作業群が五三・九％。サービス群が三・二％となつてまいりました。この状況を見ますと、当初は三分の二を軽作業が占めておりましたが、年を経るにしたがつて、地域住民の皆様がシルバー人材センターを良く理解していただき、また会員の能力が向上し、能力に応じた仕事の範囲が拡大して来ております。また公共、民間企業、個人の発注状況の比率ですが、当初では公共



保育園除草作業

で受注件数が一九・〇五％、契約額が五〇・〇八％、民間企業では受注件数が三一・〇八％、契約額が三三・七五％、個人の受注件数では四八・八七％、契約額が一六・一九％でありましたが現在では公共で受注件数が一六・四％、契約金額が二六％、民間企業が受注件数で二五・三％、契約金額では四八・二％、個人からの受注は五八・三％、契約金額では二五・五％となつてまいりました。この状況を見ますと公共の契約金額の率が減り、民間

企業が五〇%を占めまた個人の契約金額も増加してきております。

これは発足当時は公共の仕事に支えられて来たのがしだいにシルバー人材センターの制度のよさが住民、企業の皆様によく理解されたおかげによるものと思うところですが、また会員数の推移であります。男子と女子の差が全国では三分の二が男子で三分の一が女子という比率になっておりますが、当センターでは平成十二年三月末現在で女子会員が一九名も男子会員を上回っております。これは働くことが好きで仕事を通じて仲間作りが出来、会員どうしのコミュニケーションが進んでいるものと思っております。

また、平成十一年に開園いたしました鳥取県の施設、フワフワパーク「とっとり花回廊」にシルバー会員が働いております。夏場の最盛期には約三十名の会員が汗を流しております。花殻つみ、草取り、草刈り、花植え、施肥、清掃等の仕事をたくさんのお客様の中で仕事をしております。

また、施設の職員の方からシルバー人材センターの制度を理解していただき、年々増えて行く状態です。

最近の特徴的な仕事では今年十月六日におきた鳥取県西部地震、大変な被害が出ました。この地震のメカニズムを調査する東京のコンサルタントの地震計の設置、測量等の補助をする仕事に二社入ってきました。鳥根県の伯太町から日野町の鵜ノ池周辺等に行き延七十



刈払機取扱い講習会

三人の就労がありました。

組織体制

役員

理事長	一名
副理事長	二名
理事	十三名
監事	三名
専門部会（理事が担当）	
就業開拓組織部会	五名
安全就業研修部会	五名
普及啓発部会	五名
職員	
西伯本所	四名
事務局長	
主任（業務）	



地震計設置作業

- 主任（経理）
- 安全推進員
- 会見支所
- 支所長（業務）
- 主事（経理）
- 岸本支所
- 支所長（業務）
- 主事（経理）

二名
二名



ユニークな独自事業の紹介

社 智頭町シルバー人材センター

智頭町シルバー人材センターでは、事業を推進する上で大切な事柄を次の三点にしばって行っていますが、その第一は行政の谷間を我々が補完するんだという意気込みで取り組んでいくこと、第二に地域住民が私たちに今何を求めているかをよく把握して対処すること、そして第三には住民の多様なニーズにいかにして応えるかを我々自身で創造し、受注体制を確立することにあります。

このような考えから生まれたのが現在わがセンターで取り組んでいるユニークな三つの独自事業であります。

○介護移送サービスシステム

その第一は、介護移送サービスシステムですが、このシステムは利用者はもちろんのこととシルバーの会員から大変喜ばれ歓迎されており、業績も飛躍的に上昇し当センターの最大有望事業となっております。しかしながらこの事業を立ちあげるについては多くの難題があったことも事実であります。

最近新聞等で報道されていますように、白ナンバーで人を移送することは陸上運送法に抵触して法律違反となり、たとえ福祉事業と



介護移送サービス

いえどもこれは例外ではありません。

当センターでは、この点について事前に調査研究し、陸運事務所・運輸省等関係官庁等の意見も参考にして絶対に法律違反とならない方法、すなわち利用会員、活動会員、賛助会員からなる会員制を導入してこの問題を解決し事業運営を行っています。

利用会員は、車椅子生活の人、七〇歳以上の独居老人・老夫婦、三級以上の障害者等、日常生活にハンディのある人。



3級ヘルパー講習会

活動会員は、シルバー人材センター会員で運転経験豊富なベテランの人。

賛助会員は、このシステムを理解して援助協力をしていただく方。

このシステムは会員制ですから、利用会員以外の不特定多数の人は介護移送サービス車を利用することができません。

○農耕システム

第二は農耕システムですが、高齢化が急速に進む中で農業後継者が減少し、従来はJA鳥取が耕作を受託していましたが、最近ではそれすらしないようになり困っておられる農家が増加しています。



樹木剪定講習

当センターでは、農機具の保有その他農耕に適した条件を備えておられる会員の中から就労を希望される人の参加をお願いして農耕チームを編成し、発注者が希望される農作業

(荒働き・代かき・田植え・草取り・消毒・刈り取り・乾燥・その他の畑作業等)を受託しています。これもまた発注者から歓迎され大変喜ばれています。

また田の保全を依頼されたケースについては独自で稲作を行い、収穫した米は当センターが受託している生き甲斐対応型デイサービスで消費する分を保有し、残量は耕作原価で会員に分譲しましたがこのことにつきましても各方面から注目を集めています。

○生き甲斐対応型デイサービス

第二は生き甲斐対応型デイサービス事業であります。当センターでは平成十年度半ばから独自事業として託老事業を推進してきましたが、介護保険法の施行に備えて平成十一年度と十二年度の二回にわたりSP事業の介護講習会を開催し、現在ヘルパーの資格を取得した会員が三十六名います。

いまこの人たちの参加協力を得て生き甲斐対応型デイサービスを行っていますが、これについては事業そのものが社会福祉事業でもありますので、サービスの内容についても町社協と協調しながらより良きサービスが提供できるように努力を重ねております。

私たちシルバー人材センターは、より良き町づくりのために会員の英知と創意、シルバークラスを結集してその実をあげ、世にその存在価値を示したいものと考えています。



ふすま・障子張り講習会

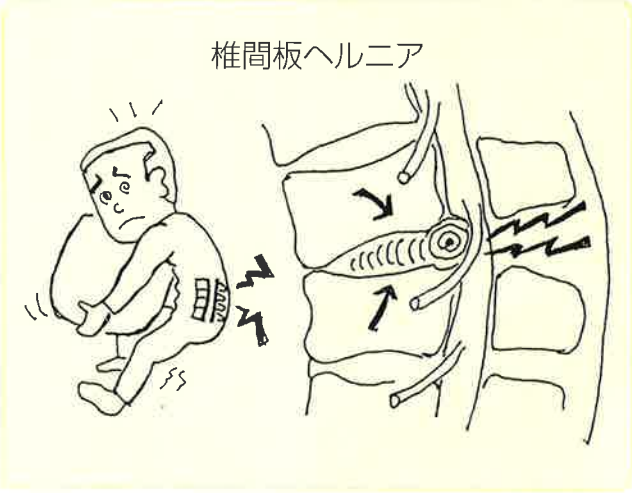
中高年の腰痛



山陰労災病院院長
整形外科医

新宮 彦助

「何気なく布団をたたもつとして突然腰がギクツとなった」「中腰で雑草取りをした後は腰がいたむ」「五分歩くと足が前にでなくて一休みせにゃならん」「一方の下肢に痛みが放散する」など、腰痛、座骨神経痛は



中高年になるとほとんどの人が経験します。

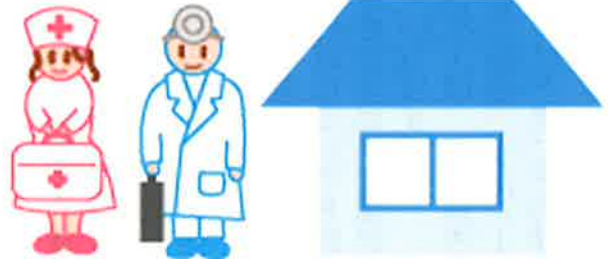
腰痛にも種々種類があり、自己流で治せるものと、命にかかわる病気が隠されているものがあります。腰痛の原因は大きく分けて、①筋肉、②椎間板、③骨、④神経の四種類があります。

①ギクツリ腰や中腰の後の腰痛は筋肉痛がほとんどで、安静にしておれば三、四日で治るものが多い。

②数日安静にしてもなおらず、一側の下肢に響く神経痛が続く場合は椎間板ヘルニアの可能性があり、専門医に相談が必要です。軽症は腰痛体操や腰を牽引したりして治療し、重症は手術でヘルニアを摘出します。

③女性では閉経後骨粗しょう症になる体質の方がおり、脊椎が圧迫骨折を生じると腰がいたみます。カルシウムやビタミンD3の補給が必要です。稀ですが背骨に癌が転移することがあり、強い頑固な痛みが続く時は医療が必要です。

④椎間板や骨が磨り減って神経の通路を狭めていることがあり、数分歩くと下肢が前に出なくなり、腰をかかめて休むとまた歩けるようになるのは、神経の血液循環が悪くなっ



ている証拠です。腰を少しかがめて歩くほうが格好は悪いですが、腰をそらして歩くより神経の通路が広がって楽になります。手術で神経の通路を広げる方法もあります。

腰痛の予防には普段から腹筋背筋を鍛える腰痛体操、重いものを持ち上げるときは腹巻やコルセットをして腹でキバルようにすること、仕事の前に準備体操をすることが大切です。

持ち上げ姿勢

荷物を体に近づけて持つ、コルセットで腹圧を高める



腹筋の強化



腹筋に力を入れておへそを見る
7秒保ち7秒休む
10回繰り返す
(力のある方は上半身を起こす)

会員のお場

金賞ものですね



北条町シルバー
人材センター

湖山 春男

中学生が町内企業で労働の実態を体験する試みがなされ、当シルバーも六人を受入れて障子貼りを経験してもらいました。

「朝食の弁当を食べながらの雑談の一駒です。近頃は洋風建築やサッシがやはり障子貼りが減ってきたけど、私達は定年退職した身だから月に三〜四日の労働でも結構なのだ。身につけた技能を活かし、仲間と力を合わせ心をこめ丁寧に仕上げるから発注者に喜ばれ、それがまた生きがいにもなる。その上、多少の収入ともなつて喜びとなりまさに一石三鳥と言えるよね。」そんな立派な人材に何でシルバーという名が付くのでしょうか。「髪に白いものが混じって銀色に見えるからかな」「年をとつても社会の役にたっている訳だから金賞ものですよ、ゴールドにしたらどうでしょう。」「ハハハ…いっそのこと髪も金髪に染めて名実ともにゴールドの名称に変えようか…」若いだけあって飲み込みも早く、自宅の障子貼りが出来るような力も身についたようです。

健康で生き活きと



淀江町シルバー
人材センター

松川 澄子

シルバーセンターの仕事に参加し、第二の人生の目標を見いだして生き甲斐と活力をもらっています。

仕事に出るようになってからは、かねて体の痛いところがあつたのですが、どっかへ吹き飛んだのか健康になりました。

シルバーセンターの会員のお友達と一緒に仕事をするうち、気心も知れ楽しく働いています。朝食の時などは賑やかに喋りをし、笑い合つたりして朗らかに時を過ごしています。

私達シルバー会員は、毎日、経験と能力を充分に発揮しながら、お客様のご期待に副うことが出来るよう心がけています。お客様から褒めの言葉や、お褒めの言葉を聞くときぐら嬉しいことはありません。

これからも元気で少しでも地域の人々の役に立つよう頑張りたいと思っています。シルバー人材センターという制度ができ、当初から会員となり、仕事に参加している私は本当によかつたと思っています。

人生！わくわく

そしてふくいくと！



（新鳥取市）シルバー
人材センター

稲村 加奈江

二十一世紀の新春！。お目出とうございます。入会させて頂きまして三事例／そして諸行事の参加等、人の出会いと織りなす人生模様／それはとうてい書きつくしがたく、感謝と感動と人生のだいご味とでも云いましょうか、シルバー会員でお仕事頂いて良かった！と最高の歓喜です。まずは九十歳の独居のご婦人宅の掃除、付き添い散歩、買物通して毅然と豊かな健康的な生き様に唖然としつつ学ばせて頂く事わくわく山盛り／次は八十路半ばの痴呆の婦人の二〜三時間の在宅にてのケア。環境その他種々と恵まれ乍らも突如？としての病？原因結果はともあれ人間的に現実に即してよりすばらしく生き抜いて頂く為の創意工夫は、心と身体からの技とでも云うのでしょうか、これ程学び莫大に豊かな仕事のとりくみは痴呆のケアならではと、自己研鑽、人間磨きとわくわく無事故で安らぎと慈しみの日々に感激。現在四大家族の家事援助三・四時間。それはそれはてんやわんやのバラエティショー。古稀を前に人生最高のやりがいある支援は未来部の育成と家事全般に全パワーを燃やし全力投球／生き生きわく

わく。そして又ふくいくと日々を充実／生きて
いる事の大満足。

子ども達とのふれあいに感謝



岩美町シルバー
人材センター (副理事長)

野澤 美代子

ひ孫のような年齢の一年〜六年まで、十名
足らずの子ども達とのふれあいの時間「習字
珠算」をシルバーから与えていただきました。
子ども達と保護者との話し合いの結果、「楽
しく仲よく」学びましょうと決め五月に始め
て八ヶ月です。学校がひけると眼を輝かせ勇
んで会場へかけつける子ども達… 三十八年
間小学校の子ども達と暮らしてきた私にとつ
て、天から授かった幸せな時間です。

学習会場が町内の信者によって祀られてい
る太師堂でした。「先生この神さんは、何の
神さんだ。」と子ども達に尋ねられ、弘法大
師の遺徳を聞かせました。「りっぱな佛さま
だがみんなが拝まないけんが。」と子ども達
の発案によって学習の前後拝むことになりま
した。

- 「お大師さま 今日もういっで勉強させて
ください。」お願ひします。
- 「お父さん、お母さんありがとござい
ます。」
- 「先生よろしくお願ひします。」

と挨拶をする素直な子ども達、お習字で上手
な字が書けると「わたしお大師さまに見てい
ただごう。」とお大師さまの前へ… 子ども
達がいつまでも素直で「ありがとございま
す。」「ごめんなさい。」と云える子ども達に
育って行くことを目指しながら私は満足した
日々を送っています。

講習会に参加して

シニアワークプログラム

左官講習会を受講して



(紐鳥取市シルバー
人材センター)

川口 一 昌

シルバー人材センターより、左官講習があ
ることを知り、持ち前の好奇心から受講する
ことにしました。講習は六日間、「壁塗」と
「ブロック積」の実習が行われました。

参加された皆さんを拝見すると「よし／やつ
たるぞ」という気構えが身体全体に現れイキ
イキした感じが見受けられ「これは頑張らな
くては」という気持ちにさせられました。

(壁塗実習) 三人一組に分けられ、道具と
材料の準備から、砂、セメント、水の配分を
教わり、いざ本番壁に向かって練り込んだコ
ンクリートを「コテ」で持って行くのだが、

こぼれて下に落ち、なかなか壁にくっつか
ない失敗を重ねているうちに段々良くなるが、
難しさは次々に進む行程の中で、いやという
程味わうことになりました。やはり職人にな
るには一朝一夕では出来ない、何年も何年も
くり返し、くり返し訓練を積み重ねて出来る
ものだと思ふに命じて実感させられました。

(ブロック積実習) この行程も何通りもの
作業を積み重ねて出来るもの、水盛によ
る水平位置決定、丁張、基礎コン打設、鉄筋
入れの位置、積み上げも水平、垂直、ブロッ
ク間隔のすべてが正しく順調に進められなけ
ればならない。しかし頭ではわかってはいるの
だが思うようには運ばない。皆さん休憩時間
も忘れ熱心に一生懸命作業に没頭されている
姿に感心させられました。良き先生の指導と
仲間同志の励まし合いで、一週間の講習はアツ
という間に過ぎ去り心地よい達成感を味わう
事ができました。この体験を生かし自分で実
際に工夫出来る機会を探してゆきたいと思ひ
ます。この講習会を立案していただいた皆様
に感謝申し上げます。



介護講習



(株)米子広域シルバー人材センター

渡邊 貞夫

ホームヘルパー二級養成講座受講の私の動機は、介護保険が発足するまでは、高齢者、ご夫婦の一方が寝たきりになっても、生活保護等の福祉世帯でない限り、病院からは退院させられ、配偶者がいる限り介護施設でも半年位で追い出され、自宅で主人又は妻の介護に疲労し、健康な配偶者が先に亡くなると云うお痛ましい事例を何人も見て涙してきました。介護保険発足で表面的には在宅介護が充実され、この機会に健康なシルバー会員として少しでも役立ってみたいと思いました。

三級資格は十日間の研修で座学八日間、実習二日間です。ホームヘルプサービスは人が人を援助する仕事ですから、サービスの質はヘルパーが在宅介護についての知識技術をどれくらい持っているかによって左右され、援助者としての姿勢、あり方が重要である事を学びました。実習の器具、身体を使っての介護技術、そして米子幸苑苑でのデイサービスセンターの朝の迎えからの一日間、ホームヘルパー二級者同行で訪問介護三軒、広江苑長の訓話等、過密な重労働にも拘らず社会福祉に従事する使命感に感銘しました。

実技実習の前日に紙おむつを渡され、自宅

で試着実験し感想文の翌朝発表で、何とか出来た人は受講生二十名中たったの四名、私自身就寝中三回目にしてこらえられなくなっても当人は大変であること。シルバー会員として生きがいとボランティア精神で気力はあっても、体力が衰えている高齢者が高齢者の介護は体力的には大変である事を実感しました。ホームヘルパー養成講座を受講して、その知識技術の習得と貴重な体験は、高齢者としてやがてはお世話にならない自分自身を考えてみて、双方の心の大切さを人間として大きな勉強をさせて頂きました。県連合を初め関係の皆様ありがとうございました。

ヘルパー2級受講を振り返って



(株)倉吉市シルバー人材センター

福本 玉枝

2000年の暮れ、指で数える程に余すところとなりました。会員の皆様にはお寒中、益々お元気で充実された毎日をお過ごしのこととおよろこびを申しあげます。

この度は県シルバー人材センター連合会主催による「ホームヘルパー二級講座」に参加をさせて頂き、誠に有り難く厚く感謝をしております。今、私の仕事の上で、さけて通れないことが多く、この講座に当たっ

てくださいました諸先生の熱弁は講義・実技共に、年齢に関わりなく大変貴重であり、私の向学心でも言いましようか、心ふるい立つものがございました。今それ等の事柄を思いながら、仕事の上で役立たせていただいていることは相違ありません。

私はダウン症の女の子と共に暮らしておりますが、数年間知的障害者の施設を職場として勤務して参りました。弱者と同じ目線の上で自分の心を省みながら思うこと多く過ぎてまいりました。最近たて続けに、姑、夫を見送りましたが、悲しいかな「何もしてあげられなかった」と思っている次第です。喜んでもらえることをしてあげたかも知れないけれど、出来得なかった事の方が、あまりにも心痛みます。

高齢者と病人を見送って、順序は私に近づいて来そうです。今のうち、心身共に安定している？時に少しでも役に立つならば、こんなに有難い事はありません。退職前に三級としてこの度の二級と本当に受けて良かったと思えます。

お陰で今があるのですから、私がいちばんうれしいことは「心強い」という言葉です。これを聞けば、何の欲もありません。高齢者のお方は日一日と体力的にも精神的にもいじりしい変化があります。

今の仕事に当たって事故の起きないよう気配りしながら責任を果たしたいと思っています。高齢者の方への「思いやり」「ほんとう

のやさしさ」「ほんとの」…忘れないでさ
びしいご老人もまだだいらっしやるよう
です。この仕事は、これで充分という言葉はな
いようですから。

介護講習の受講を終えて



大栄町シルバー
人材センター

稲井悦子

平成十二年四月から介護保険が始まりまし
た、少子高齢者社会の中にあつて、大栄町で
も高齢者が高い率を示しています。

私の母も九十を過ぎる高齢で、車イスの生
活をしていますので、少しでも学習をして世
話をしてやりたい気持ちと、自分自身のため
にも技能を習得しておきたいと思っていまし
た。ちよとどその時、シルバー人材センター
で介護講習会（ホームヘルパー養成研修二級
課程）の募集があることを知り、喜んで受講
させていただきました。

二級は三級とは違って、大学の先生や病院
の専門医の先生方の講義と実習で、難しい専
門用語も出てきて戸惑いましたが、大変親切
丁寧に教えていただき、私も怠けてはいけな
いと、熱心に勉強に取り組みました。また一
方クラスの皆さんと交流もできて、大変楽し
く学習を進めることができました。

気高町に実習に行った時は、寝たきりの人

を家庭訪問し、入浴介助・食事援助等の体験
をし、大変な仕事だと実感しました。気の毒
なほど痩せた体で頑張っておられる姿を見る
と涙が出そうになり、笑顔で対応するのもつ
らいものがありました。

最後に「在宅介護支援センターのじま」に
行き、車イスで生活しておられる方の世話を
しました。食事の誘導、シート交換、おしめ
交換、時には話し相手等、一対一で対応して
大変喜んでいただきました。この喜び合えた
感動は忘れることができません。

お陰様で介護養成講習を受講し、今後何か
ボランティア等にも進んで参加したい気持
ちでいるこのごろです。

介護講習を受講して



社智頭町シルバー
人材センター

寺坂久恵

平成七年十一月土砂降りの雨の朝、突然鳴
り響く電話にびっくりして飛び起きると、

「もしもし寺坂さんですか？こちらは警察署
ですがお婆さんはおられますか？」

「はい、姑は寝ていますか？」

と言いながら姑の部屋をのぞくと、戸を開け
放し姿は見えませんが、夜中に抜け出し山奥へ
歩いていくところを新聞配達の人が見つけ、
警察に保護されているところでした。

これが姑の痴呆の始まりでした。その日以
来少しずつ痴呆は進行し、私は平成九年九月、
長年勤めた会社を退職して姑の介護をするこ
とになりました。

◆若き日の面影消えし姑にして

吾の介護にただ身を任す

◆支えられデイサービスに出かけいく

姑の背中に風花の舞う

デイサービス、ショートステイを利用しな
がら、ホームヘルパーさんに入浴の世話をし
て貰い、悪戦苦闘しているところに、介護講
習の募集を知り受講しました。

ホームヘルパー養成研修テキストの中に
【介護とは、日常生活行為を成立させるとい
うことを手段として、どんな状態になっても
決して見放さず、その人がその人らしく生き
るために障害になつていゝことをしっかりと
受け止め、適切なサービスを生活の中へ組み
込んでいくことなのです。】

と書いてあり、姑は現在八十二歳で寝たきり
となり、関節が固くなりおしめの取替えも困
難となりました。これから先何年介護してい
くのかわかりませんが、介護講習で勉強した
ことを姑に実践していきたいと思っています。

◆昼に寝て夜半に大声出す姑の

傍にまどろみまた歌を詠む

◎ 高齢法の改正による

会員の新たな就業形態について 子守、留守宅管理など

今般、高齢者等の雇用の安定等に関する法律の改正がなされ、平成十二年十月一日より施行されました。

この改正は、従来シルバー人材センターが高齢者に提供する就業の範囲が臨時的かつ短期的な就業であったことに加え「労働大臣の定めるその他の軽易な業務に係るもの」に拡大されることになりました。

この軽易な業務とは、次の各号に掲げる業務であつて、当該業務の処理に要する一週間当たりの時間が労働者の一週間当たりの平均的な労働時間に比し相当程度短いものとする。

- 一 教室又は家庭における教授の業務
- 二 家事手伝いその他の家庭生活支援サービス
- 三 自動車の運転その他のその処理に当たり免許又は資格を必要とする業務
- 四 前三号に掲げるもののほか、特別に知識又は技能を必要とすることその他の理由により同一の者が継続的に当該業務に従事することが必要である業務



新規加入団体

正会員

日南町シルバー人材センター

理事長 青戸 建一郎

発 足 平成十二年十一月十日

会員数 四十七名

事務所 日野郡日南町生山五一一五

電 話 〇八五九一八二一〇三七四

F A X 〇八五九一八二一一〇二七

賛助会員

日南町

町 長 矢田 治美

入会日 平成十二年十一月十三日

住 所 日野郡日南町生山六一九

電 話 〇八五九一八二一一一一



船通山 (天の紫雲の剣出土)
毎年7月28日 山頂で「宣揚祭」
鳥取県日野郡日南町内

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員名簿

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	理事長
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	谷村俊郎
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	川口貞良
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0864	倉吉市鍛冶町1-2971-2	0858-22-0870	0858-23-6101	福井春光
(社)境港市シルバー人材センター	684-0043	境港市竹内町40	0859-45-6661	0859-45-6583	岸本諒二
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡西伯町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	代理 大島武夫
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	玉木久夫
用瀬町シルバー人材センター	689-1211	八頭郡用瀬町別府31-1	0858-87-2302	0858-87-2369	和島利明
淀江町シルバー人材センター	689-3402	西伯郡淀江町淀江676-2	0859-56-6200	0859-56-6205	高野邦親
北条町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-4527	0858-36-5056	牧田邦俊
中山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡中山町赤坂766-1	0858-49-3012	0858-49-3013	中井雅由
郡家町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡郡家町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	漆原勝時
国府町シルバー人材センター	680-0142	岩美郡国府町麻生4-2	0857-22-1880	0857-22-1889	川上嗣夫
江府町シルバー人材センター	689-4403	日野郡江府町久連7-1	0859-75-2942	0859-75-3900	竹内 晋
岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2511	中島 淳
東伯町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡東伯町浦安152-3	0858-52-1001	0858-53-2035	米田義人
大栄町シルバー人材センター	689-2205	東伯郡大栄町瀬戸36-2	0858-37-4522	0858-37-4532	竹歳邦安
羽合町シルバー人材センター	682-0712	東伯郡羽合町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
赤碕町シルバー人材センター	689-2501	東伯郡赤碕町赤碕1113-1	0858-55-1124	0858-55-1124	小泉忠好
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0338	0859-74-0338	谷本忠光
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山511-5	0859-82-0374	0859-82-1027	青戸建一郎

お知らせ

・投稿募集

俳句、短歌、川柳、会員の声
俳句、短歌、川柳は二句(首)まで
投稿ご希望の方は左記までご連絡をお願い
いたします。

米子市錦町一丁目二二

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八一

電話番号 (〇八五九)三七一五三一

FAX番号 (〇八五九)三七一二五三七

あしがき

連合会設立後、三年目の新年を迎えて第四
号を発行する運びとなりました。

ご投稿を頂きましたシルバー人材センター
並びに会員等の皆様方に感謝申し上げます。
今後とも、ご投稿にご協力を得ながらより
充実した紙面となるよう努力してまいりたい
と考えております。

格別のご意見、ご支援をお願いします。

会報 どっどり 第4号
平成13年1月1日 新年号発行

発行：社団法人 鳥取県シルバー
人材センター連合会

所在地：〒683-0811
鳥取県米子市錦町1丁目22番地

電話：0859-37-2531

FAX：0859-37-2537

印刷：ニシキ印刷(有)
鳥取県米子市灘町3-150

電話：0859-32-2250